

## 蓮沼中学校・松尾中学校統合準備委員会 第1回総務部会要点記録

1. 日 時	令和2年8月21日（金） 17時30分から19時11分
2. 場 所	松尾ふれあい館
3. 出席部会員	16名（欠席0名）
4. 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 議題 (1) 校名候補の選定について (2) その他について ・次回開催日時について 4 閉 会
5. 事務局	学校再編推進室

議題についての概要は次のとおり。

### ①校名候補の選定について

#### 【事務局の説明】

- 校名選定のスケジュールについて説明
- 市内の統合校の校名選定方法について説明
- 選定にあたって留意していただきたいことについて説明

#### 【発言の概要】

- ・資料には市内の統合例が記載されているが、旧町村をまたいだ統合例はないのか。
  - （事務局）資料には今回のような例はない。旧自治体の枠組みの例ではあるが、そういったことを加味した中での議論をしていただきたい。
- ・今回は市内の統合例とは事情が違う。それを考えるとスケジュール的にも大変である。
 

公募が良いと考えている。だが公募をすることとして、なぜこんなことをするのかと言われた時に、教育委員会は回答してくれるのか。まだ統合に承諾していないという話が出る可能性がある。そうなったとき、教育委員会がしっかりと進めていくという確信をもって説得しないと、公募のアンケートも頓挫してしまうのではないか。

私達はどういう方向で校名を決めるのか、この会議で決定したことを報告して、教育委員会と議会の承認を得るといことで良いのではないか。

両校の沿革や歴史を公募用紙に載せて、それを参考に新しい学校名を住民に考えていただきたい。

その後、ここで3点ほどに絞って再度アンケートをとり、その結果を委員会に提出すれば良いと考える。
- ・公募が良いと考えている。今回の統合は旧自治体をまたいだものとなるので、松尾中学校という名前にこだわらずに、山武市全体で考えた時に新しい校名のあり方があると考え。そのために、住民の意見も取り入れたほうが良いので公募したい。
- ・公募に賛成である。だが、統合に反対している住民がいる中で公募しても、事務局で住民に対応していただかないと、なかなか前に進まないのではないか。もともと違う行政区の統合なので、気がかりな点もあると思う。このままのスケジュールだと難しいと考える。
 

教育委員会からの返答がなにも来ていないのが実情である。そのあたりにも回答していただ

かないとスケジュールの通りにはいかない。

➤今までの経緯を踏まえて統合準備委員会がスタートし、今回は総務部会が始まったわけで、意見を言うのは良いが、今の話を蒸し返してしまうと前に進まない。

広く地域の意見を聞きたいのと、今までの経緯を踏まえると、公募が良いのではないかと。公募した場合は校名候補の絞り込みが難しいので、選考の観点を明確にしていくことが重要である。また、どのような経緯で決定したかを説明できるようにしていただきたい。

もう1つ大事なのは、票数の多さで決めるものではないということに関してである。そういったことを踏まえ、選定の基準について説明責任を果たす必要がある。最終的には多くの意見を踏まえて校名決定をしていかないといけない。

選ばれた委員の方々が議論の中で決めるのは、民主主義のプロセスとして当然である。多くの意見が出ると思うが、そこで押さえては議論が進まない。

・他に意見が無いようなので公募に賛成する方は挙手をお願いする。

➤賛成：16人

反対：0人

➡校名候補を公募するアンケートを実施する。

・(事務局) まずは公募するという事で意見が一致したようである。また、再度アンケートにかける可能性も残して審議していくとのことであった。それに伴いスケジュールが多少幅広になるの考慮して、議論を深めていただきたい。

1回目のアンケートの結果を見た後でないと、2回目が必要なのか判断できない。2回目のアンケートとなると、さらに1か月ほど時間をいただく必要がある。

また、公募用紙の文面や伺い方には注意する必要がある。

加えて、学校の沿革を掘り下げる必要があるという意見もあった。これからは公募にかけるという方向性で今後の会議を進めていきたい。

・公募をすると理由を含めて候補が挙がってくるが、理由を精査して絞り込んだ後、住民にどのような候補があるのか情報開示した方が良い。その後2回目のアンケートをしていただきたい。

➤(事務局) 挙がってきた内容の情報開示、絞りこんだ結果についてアンケートすること、ともに可能であるとする。

・2回目のアンケートには反対である。理由として、2回目のアンケートをすると、対立が生まれる懸念があるからである。

・選定方法の中にある、対象校の伝統や歴史を尊重した中で選んでもらうということが重要である。選定基準としては、それが反映されているかを説明できないといけない。

学校要覧を見ても、蓮沼中学校と松尾中学校の両校とも同じようなことが書いてあるようだが、完全に同じという訳ではない。是非、要覧に書いてあること以外にも公募に必要な材料を出していただきたい。

統合準備委員会で2、3点に絞った段階で、2回目のアンケートをせずに教育委員会に提出するのが良いと考える。そこで教育委員会と議会で判断していただきたい。1つに絞るのは難しいと考える。

・絞ったものを再度公募して、すれ違いが生まれることを懸念している。

選定方法の視点というのは、統合校にふさわしいものである、人気投票によるものではない、住民の意思を反映したもの、あるいは地域に末永く愛され親しまれる、こういう視点が含まれると考える。そういったことを踏まえて、この会議で絞っていったら良い。

・2回公募にかけるのに賛成である。学校は地域と一緒にあるものであり、地域の皆が選んだ校名

でない、1回で終わったのでは地域の意見を汲み取るには不十分である。2回アンケートをとって、その中から候補を挙げるのが理想ではないか。

- ・1回のアンケートでいくつか候補を出して教育委員会に提出するのと、もう一度アンケートをするという意見があるが、教育委員会がしっかりと意見を受け止めて、理由も含めてアンケートの結果を説明できるなら、アンケートは一度で良いと考える。
- ・3案程度に絞り込んで、どれになってもおかしくないというくらいにまでして、住民の票数によって決めるというわけではなく、住民の意見を確認するため、再度アンケートをしても良いと考える。
- ・私は、最初の公募の後にいくつか絞って教育委員会に提出するという意見である。もう1つの意見では、再度アンケートにかけるとのことであった。そのあたりが意見の分かれ目だと思うので、他の委員にも意見を伺いたい。
  - ▶では皆さん意見を願います。
- ・私も公募が良いと考える。1回のアンケートでいくつか候補を出して教育委員会に提出する。もう一度アンケートをするという意見もあるわけだが、教育委員会がしっかりと意見を受け止めて、理由も含めてアンケートの結果を説明できるというなら、教育委員会に提出した方が良いと考える。
- ・再度のアンケートをすると考え方が振り出しに戻ってしまうので、一度アンケートをしたものは地域の総意ということで、2回目のアンケートをする必要はないと考える。
- ・2回目のアンケートで校名を選ぶわけではないということか。もう一度聞いたものは参考意見ということで、統合準備委員会に挙げるということが良いか。
  - ▶そうである。
- ・あくまでも意見の1つとして、もう一度アンケートしたらこのような感じだったというのを統合準備委員会に挙げるということか、また選びなおすわけではないということか。
  - ▶絞り込んだ意見は専門部会で精査し、どれを選んでもおかしくないという形でアンケートをしてはどうかと考えている。
- ・住民に理解を深めてもらうために、2回目のアンケートをするということか。
  - ▶そうである。名称と理由がその時点で絞られているはずなので、住民の方に知ってもらって、その後2回目のアンケートをしたい。アンケートの方式もどれが良いかではなく意見を求めるような形でも良いと考える。
- ・こういう内容や理由でこの3つに絞ったので、これでいかがかと聞くために行うということか。
  - ▶そうである。公開して住民の方がふさわしいと思ってくれるかを確認したいので、2回アンケートしたい。3つの中のどれになるかはわからないが。
- ・どれが良いかというふうに意見を聞くのか。
  - ▶そうではない。最終的な意見は統合準備委員会で決める。そうしないと票数で決めることになってしまう。そうではなく、絞った校名に対する意見を住民に聞きたい。
- ・住民の意見を聞いて、その後はどうするのか。
  - ▶公募して統合準備委員会で絞って、その案について住民に理由を含めて伝えて、その後ふさわしいものということでアンケートをすると数のことになってしまう。
  - ▶それだとそのあとまた投票ということになるのではないか。
  - ▶絞った意見について、どのようなイメージを持つかアンケートをとってはどうか。例えば3つの中で、統合校の校名にふさわしいのか聞いても良いと考える。
- ・意見を絞って、その理由を公表するというところまではよろしいか。その後、教育委員会で絞

り込むというフローも公表して、意見がある方は委員会へということで良いのではないか。

2回アンケートをすると、投票数が問われると予想する。その時に投票数が1位でないものを選んだとしたら、不満に思う住民も出てくる。

▶付け足しとして、校名候補を絞った後、教育委員会が住民からの意見に対して、納得がいけば変えて、納得いかなければこの意見で行くという態度を示していただきたい。そうしないといつまでたっても決まらない。皆さんの意見は公募で伺い、最終的には教育委員会の会議で決めてもらうしかないと考える。その理由もしっかりと公表するのが重要である。

- アンケートは1回だけという意見に賛成である。絞った後にアンケートにかけるという意見も理解できる。しかしそれをすると、好意的でない意見もよせられると考える。そうすると絞ったものが揺らいでしまうのではないか。

公開した以上、意見を受け付けるというスタイルをとらないと、何のために公開したのかということになってしまう。

2回目のアンケートをすると、どれが良いかという意味でアンケートをしたのだと住民は解釈してしまう恐れがある。

- 公募をして、どの校名になっても、伝統や歴史を尊重しており、地域性を尊重したうえで絞ったということを住民に説明し、地域の意見を聞くのは大事だと考える。広く意見を聞いて、複数に絞り、最終的に1つに絞るというプロセスが良いのではないか。

- 3つに絞るのは決定事項か。

▶1つに絞れば、住民のアンケートもなくなるので、良い候補が複数あった場合ということである。

- 1度目の公募で住民の意見は拾えると考え。加えて選考の視点を設定して選ぶことで、意見を大事にできる。なおかつ、意見があれば受け付けるということで良いのではないか。
- アンケートをする際の選定基準の説明が重要である。そうすることで客観的な視点で理由付けが出来る。2回目のアンケートをすると人気投票になる可能性があり、そうすると説明が難しくなるのではないか。
- アンケートについても用紙の文面に注意してほしい。また、どのように配布するかについても考えていただきたい。
- (事務局) 公募にかけるということでは一致しているかと思う。

2回目のアンケートは行わずに絞っていく、その中で結果的に1点に絞られる可能性もあるということは加味していただきたい。

公募の対象をどうするのかについても議論していただきたい。

今回は前回までの公募用紙のようにはいかないと考え。両校に訪問して、沿革史等を拝見し、次回の会議までに一度示したうえで修正していく形をとりたいと思う。

配布方法としては地区回覧を主な手段とする予定である。なので募集期間は1か月程度を想定している。

対象範囲について、以前までは学校区としていた。配布方法としては地区回覧と学校配布が主になっている。ホームページにも掲載したが、この方法をとった方は多くはなかった。地区回覧を配る範囲だが、事務局としては学校区を範囲と想定している。説明した内容について意見はあるか。

- 範囲としては松尾と蓮沼地区で良いか。

▶ (事務局) そうである。

- 生徒の希望も地区回覧に含めるのか。

- (事務局) 生徒へは各学校から一人1枚配る予定である。
- ・地域に地区回覧を求めるのは良いが、地区回覧に含まれない方もいるので、そのような方に応募用紙をどのように配るのが課題になる。
- ・生徒に配るという話だが、中学生だけということか。
  - (事務局) 前回までの統合を見ると地区に入られていない方もおり、それを補足するためにも学校を通じて配布した。
- ・(事務局) 日向小学校の校名公募の時は、用紙に学校の位置がわかるよう、地図を掲載した。今回は代わりに沿革等を掲載できるかと思う。
- ・配布対象は現在の中学校の生徒だけで良いのではないか。切実さを感じているのは在学している生徒なので、小学生に聞いてもイメージがつかないのではないかと考える。
- ・小学校も対象にする場合、高学年が対象になるかと思う。また松尾小学校の児童は歴史や伝統の部分で、蓮沼について説明しないとイケない。
- ・児童に意図を説明するのが難しい。高学年であれば可能かと思うが、意を汲んで意見を考えるのは厳しいと考える。学校を通して家庭へ配布であれば、良いのではないか。
- ・小学生にも意見を聞いていただきたい。実際に意見を出せるかどうかはわからないが、将来的に通う児童が少しでも地域の伝統や歴史に目を向けたうえで考えてくれれば、学校に入学する意欲がわくと考える。実際に全員が出せるかということそうではないと思うが、そういったことを考える時間は小学校でも必要だと考える。
- ・統合時には、現在の4~6年生くらいが統合校の生徒になるわけで、小学生も自分たちの新しい学校のイメージを持っているはずである。小学生にも投げかける必要があるかではないか。
- ・小学生に自分たちが通うことになる学校について考えさせる機会は重要である。無理やりではなく、趣旨を説明して、そのなかで案があれば出してくれと言うふうにするのであれば良いかと思う。
- ・提出するのは任意か。
  - (事務局) そうである。
- ・選考基準をはっきりさせるうえで、要項に伝統や歴史を尊重したものがあるが、そういったものを広く理解してもらうために資料が必要なので用意していただきたい。
- ・(事務局) 公募用紙についてはこちらで文面を考えて、学校や評議員に何度か校正をお願いすることもあるかと思うが、いかがか。
  - 了承
- ・統合校の位置をまだ知らない方もいるので、何かしら記載した方が良いのではないか。
  - (事務局) 学校位置については記載したいと思う。

## ②その他

### 【事務局 資料に基づき説明】

- 本日の協議内容について確認
- 次回の会議日程について説明

### 【発言の概要】

- ・他部会の委員の中に保護者の代表がいらっしゃるの、校名選定の協議に加えることはできないのか。
  - (事務局) 次回の総務部会では参加せず、公募をした後の絞り込みの作業に保護者代表を一部加えるということか。

➤ そうである。

➤ (事務局) 規定を確認したところ、専門部会には部会員以外の参加ができるので、保護者全員なのか会長だけなのか枠組みははっきりしないが、この会議で合意が得られれば出席も可能と考える。

どういった人選を想定していたのか。

➤ P T A ・通学部会は 21 人なので、それと同等の人数に増やしたいと考える。

➤ P T A ・通学部会員の中で、両中学校から 3 人ずつ入れてはいかがか。

➤ (事務局) 第 3 回以降の総務部会への参加となるが、要綱と照らし合わせても参加は可能であると考える。

- ・ P T A ・通学部会員の中学校の保護者 6 名が、校名候補の絞り込みに参加することに賛成の方は挙手をお願いします。

賛成 : 16 人

反対 : 0 人

➡ P T A ・通学部会員の中学校の保護者 6 名が、校名候補の絞り込みに参加する。

- ・ アンケートをするにあたって、教育委員会からより細かな説明をして素直にアンケートをできるように工夫するようお願いする。

➤ (事務局) P T A ・通学部会でもこのことを念頭に置いて進めて行きたい。

#### 【まとめ】

- ・ 校名候補の選定方法として、アンケートで公募することが決定した。公募の範囲は、各中学校区とする。配布方法は地域の回覧を軸とする。文面については両校の歴史を子供たちが見て理解できるように工夫する。
- ・ 公募の結果については統合準備委員会の中で絞り込むが、候補を 1 つに絞れない可能性もある。
- ・ P T A ・通学部会員の中学校の保護者 6 名が、校名候補の絞り込みに参加する。
- ・ 第 2 回総務部会を 9 月 23 日 (水) に開催する。公募用紙の確認作業を行う。

終了 19 時 11 分